

# 目次

- 一 付し がき
- 二 戦線統一運動に對する我々の具本的態度
- 三 当面我々の陣営内に在りつゝある戦線統一運動と、それに対する我々の見解
- 四 我々の戦線統一方針
- 五 新同盟結成準備会樹立の必要
- 六 全国協議委員会の構成並に任務
- 七 地方協議委員会の構成並に任務
- 八 地区協議委員会の構成並に任務
- 九 産業別協議委員会の構成並に任務
- 十 新同盟の性質に就いて
- 十一 結ぶ

## 一 はじ め に

① 支配階級の重圧は益々加重され、大衆の生活は益々窮乏化し、生活防衛のための戦線統一が極度に懸望される。ある日、労働組合戦線の統一が実現する。この日、我々の重大なるものである。我々(全労統一全国会議、江東地方協議委員会)は、並に日本労働組合総連合会(以下、全労連)は、今度、全労連の多数の組合に對して、戦線統一の提唱をなしたのでありますが、我々が、如何なる態度に基き、如何なる態度で、この統一運動を提唱し、これを遂行するかにしては、いと考へねばなりません。

② この共同意見書に述べた我々の意見は、勿論、我々の統一運動の最終的方針といふわけではありません。それは、この戦線統一運動に参加する全労連各地の多くの労働組合、労資組合内の反対派、未組織工場労働者、並に、提唱三回年の代表者によつて構成される正真正正の労働者に於て充分審議の上決定されるべきもので、我々は考へておきます。

③ 我々は、この提唱三回年としての責任を重んじ、先づ、我々自身の態度を明らかにしたわけがあります。正式な委員会が結成される上は、各回年の代表者諸君が、充分に各自の意見を述べられ、如何にして、この戦線統一運動をより発展させるかの事、並に、最終的の共同意見を結成するに、どうして、如何にして、如何にして、徹底的な討議をなさるべきことである。我々は、これを切望してをります。

☆

☆

☆